

いのち

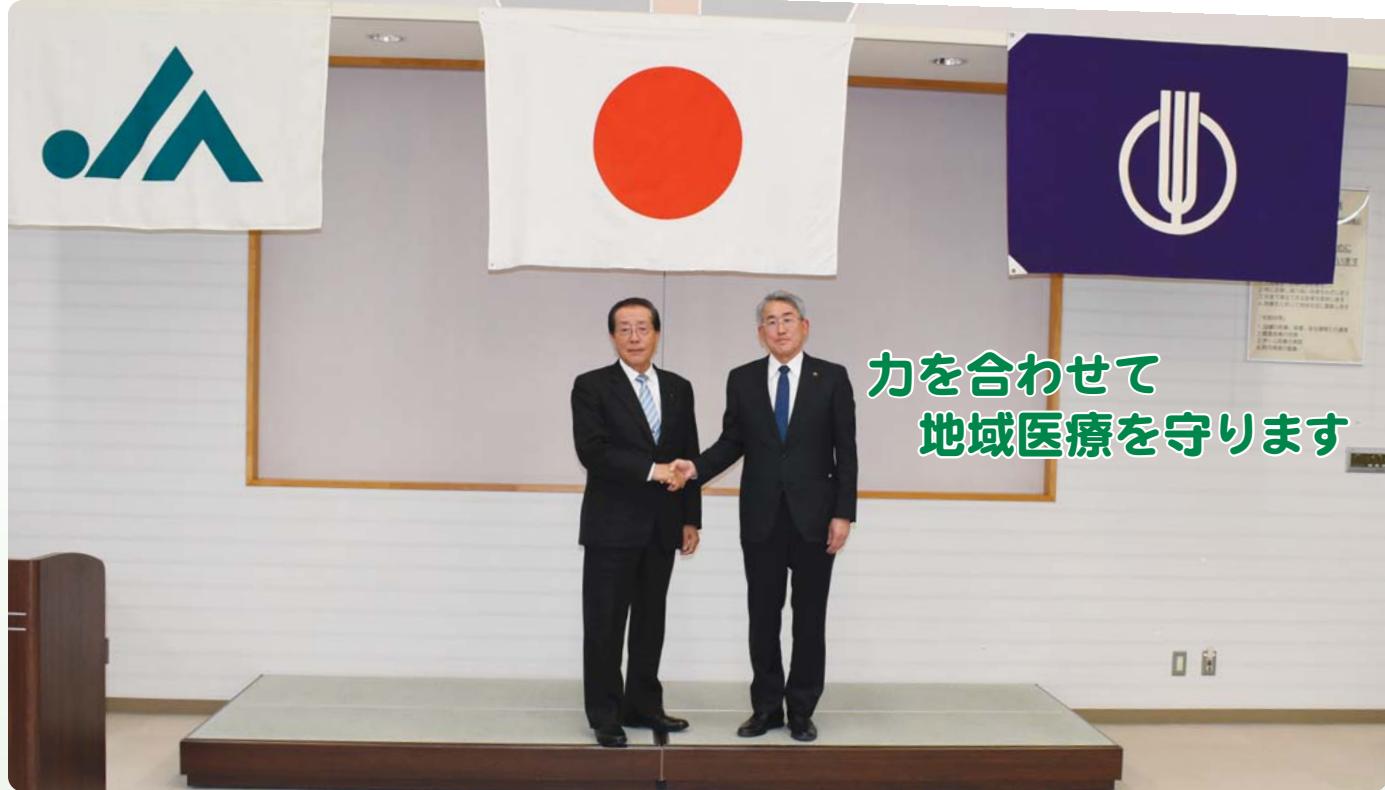
第 22 号

発行：令和2年4月15日

J A岐阜厚生連
東濃中部医療センター



土岐市立総合病院



左から：JA岐阜厚生連 経営管理委員会会長 堀尾 茂之、土岐市長 加藤 淳司

理 念

地域の信頼に応えるために
良質な医療を行います

基 本 方 針

1. 人間尊重の医療に努めます
2. 常に研鑽し質の高い医療をめざします
3. 安全で満足できる医療を提供します
4. 医療をとおして地域社会に貢献します



新病院長あいさつ

岐阜県厚生農業協同組合連合会
東濃中部医療センター 土岐市立総合病院

病院長 塚本英人

このたび、令和二年四月一日より土岐市立総合病院はJA岐阜厚生連の指定管理により、「東濃中部医療センター・土岐市立総合病院」となり、私はセンター長兼病院長として赴任致しました。

当地域の少子高齢化、人口減少は更に進み、医師の偏在は改善されず、医師不足は増え深刻となっています。県は地域医療構想を策定し、急性期、回復期、慢性期といった病床機能の見直しとベッド数削減を求め、昨年九月には再編統合が望ましい病院の公表を行いました。それ以前より、医師確保の観点から派遣元である大学医局より、土岐市立総合病院と東濃厚生病院への同時派遣は困難であり、統合・集約化の必要性が求められておりました。また、土岐市立総合病院は医師の減少が止まらず赤字経営が続いていることから、東濃厚生病院は人口減少により将来の病床維持が困難になると予想されており、この様な医療環境により統合は必須と考えられました。

このようなかつて、JA岐阜厚生連から土岐市に対し、将来の一病院化の前段階として、JA岐阜厚生連が土岐市立総合病院の指定管理者となり、東濃厚生病院との経営主体を一本化することで、この地域の医療提供体制の維持強化を図ることを提案し、指定管理の運びとなりました。

従来の指定管理は経営形態を変えて存続を維持するものですが、考が赤字経営が続いていることから、東濃厚生病院は人口減少により将来の病床維持が困難になると予想されており、この様な医療環境により統合は必須と考えられました。

このように、JA岐阜厚生連が土岐市立総合病院の指定管理者となり、東濃厚生病院との経営主体を一本化することで、この地域の医療提供体制の維持強化を図ることを提案し、指定管理の運びとなりました。

このように、JA岐阜厚生連が土岐市立総合病院の指定管理者となり、東濃厚生病院との経営主体を一本化することで、この地域の医療提供体制の維持強化を図ることを提案し、指定管理の運びとなりました。

将来にわたり、市民の皆さまが安心して暮らせる医療提供体制の実現に向けて

土岐市立総合病院は
令和2年4月1日よりJA岐阜厚生連が運営します



岐阜県厚生農業協同組合連合会
経営管理委員会会長

堀尾 茂之

令和2年4月1日より岐阜県厚生農業協同組合連合会が、指定管理者として土岐市立総合病院、駄知診療所、老人保健施設やすらぎ、訪問看護ステーションときめきの運営を担うこととなりました。

現在、日本では少子高齢化に伴う人口減少が急速に進み、医療を取り巻く環境は非常に厳しい状況であります。このような背景の下、平成28年7月岐阜県は、将来のあるべき医療提供体制を示した地域医療構想を策定しました。この構想の達成に向けて、病床再編・病院統合など医療資源の集約化や役割分担・病床規模の適正化等を推進する取り組みが行われています。

このような背景の下、土岐・瑞浪両市で構成される東濃中部地域の医療提供体制については、今後の医療需要の減少や医療従事者の働き方改革、医師の地域偏在・診療科偏在などにより、土岐市立総合病院と東濃厚生病院が現行の体制のまま急性期医療を続けていくことは難しいのではないかとの危機感から、関係者間による議論を重ねた結果、病床数は400床程度で、1病院化することが適当であるとの結論になりました。

また、1病院化までの間については、両病院が協力しネットワーク化を図るとしていたところ、土岐市立総合病院の医師不足が深刻化したことを受け、厚生連を管理者とする指定管理者制度へと移行し、東濃厚生病院と同一管理者とすることによる連携強化及び病床機能分担による機能分化を行うこと、両院の医療の質を確保するため、両病院間の人事交流を早急に行うことを土岐市にご提案申し上げ、4月1日より「指定管理者制度」へ移行する運びとなりました。これは、東濃中部の医療を継続的・安定的に提供していくには必要であると判断した結果であることをご理解頂きたいと思います。

地域医療の確保は、地域の皆さんにとって重要な生活の砦（地域社会のインフラ）もあります。4月からは、「東濃中部医療センター」として両病院が相互に協力し、地域に根ざした医療・保健・福祉活動を通して地域住民から信頼され、必要とされる病院づくりを目指します。また、経営改善により安定的な経営と効率的で持続可能な医療提供体制を確保するよう取り組んでまいりますので、地域の皆様のより一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げましてご挨拶とさせていただきます。



土岐市長

加藤淳司

総合病院は、昭和63年5月に当時の土岐市民病院と国民健康保険中央病院の2病院を統合して誕生いたしました。それ以来30年余りの間、地域の中核病院として土岐市が管理・運営を行ってまいりましたが、この間、医療を取り巻く状況は大きく変化してまいりました。特に近年は医師の都市部への偏在により地方の医師不足が顕著となり、当院においても医師数がピーク時の半数近くまで減少する事態となっております。加えて少子高齢化に伴う人口減少・高齢者比率の上昇の影響による医療需要の変化等が予測されるため、当地域における医療を将来的に安定して確保することを目的として東濃中部の医療提供体制検討会を立上げ、「土岐市立総合病院と東濃厚生病院の統合による一病院化」の方針を決定し、「一病院化までの間、両病院が協力してネットワーク化（病床機能分担）を図る。」こといたしました。

こうした流れの中、ネットワーク化による医療機能の充実等を目的として、本年4月1日に指定管理者制度を導入し、総合病院、駄知診療所、老人保健施設やすらぎ及び訪問看護ステーションときめきの4施設の管理・運営を岐阜県厚生農業協同組合連合会（JA岐阜厚生連）にお願いいたしました。これにより各施設の名称に冠が付き、例えば総合病院は「岐阜県厚生農業協同組合連合会 東濃中部医療センター 土岐市立総合病院」となりました。

JA岐阜厚生連は、瑞浪市にある東濃厚生病院を始め県内に7つの公的医療機関を開設し、各地域の特性に応じた医療サービスを提供している病院経営に精通した団体です。

今後は、JA岐阜厚生連の管理・運営のもと、東濃中部医療センターとして土岐市立総合病院と東濃厚生病院がネットワークを組み、土岐・瑞浪両市で構成される東濃中部地域を中心とした地域の医療を担ってまいります。JA岐阜厚生連の技術力、経営ノウハウ、ネットワーク等により、一層充実した質の高い医療サービスが提供できる病院となるものと考えております。

土岐市といたしましても総合病院、駄知診療所、老人保健施設やすらぎ、訪問看護ステーションときめきの開設者として、JA岐阜厚生連と協力して地域包括ケアシステムの充実に全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願ひいたします。

今までと
変わり
ません!

4月1日からの診療体制



総合病院

◆診療科目

内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、腎臓内科、リウマチ・アレルギー科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科、精神科、検査科

◆診療日・受付時間

月曜日から金曜日まで
(午前8時30分から11時30分まで)

◆休診日

土・日曜日、祝日、年末年始
(12月29日～1月3日)

駄知診療所

◆診療日・診療時間

月曜日から金曜日まで
(午前8時30分から午後5時まで)

◆休診日

土・日曜日、祝日、年末年始
(12月29日～1月3日)

老人保健施設やすらぎ

◆通所日・通所時間

月曜日から土曜日まで
(午前8時から午後6時まで)

◆休所日

日曜日、祝日、年末年始
(12月29日～1月3日)

訪問看護ステーションときめき

◆開所日・開所時間

月曜日から金曜日まで
(午前8時30分から5時15分まで)

◆休業日

土・日曜日、祝日、年末年始
(12月29日～1月3日)

新任医師を紹介します

2019年11月
赴任

外科部長

成田 公昌 (なりた きみまさ)

雲南市立病院より



昨年11月から外科に赴任し、腹部外科一般を担当しています。一つの疾患でもいくつかの治療法がある場合があります。患者さまとよく話し合って治療法を決めていきたいと思います。低侵襲の手術なども進めていければと考えています。

2019年10月
赴任

小児科 医師

水野 佑也 (みずの ゆうや)

岐阜大学医学部附属病院より



昨年10月より小児科医として勤務しています。若輩者ですが、地域の皆さんに気軽に受診していただけるように、また、子どもの成長と共に見守る長期的なフォローに努めます。

2019年11月
赴任

研修医

市橋 昂樹 (いちばし こうき)



昨年11月から総合病院で勤務しています。まだまだ、至らない点が多いと思いますが、地域の皆さまの健康を第一に精進してまいりますので、よろしくお願いします。



外来診療表

令和2年4月

診療科名		月	火	水	木	金	備考
内科	1診 内分泌	津村 哲郎	廣瀬 友矩	半田 朋子	吉田 仁美	池庭 誠	3診 (新患) 以外は 予約制
	2診 血液／呼吸器	中原 義夫 (呼吸器)	山内 辰也 (血液内科・新患)	加藤 俊夫 (呼吸器)	山内 辰也 (血液内科)	木村 令	
	3診 新患	新見 隆夫		当番 医	当番 医	太田 知英	
	5診 循環器／消化器／ 内科一般	木村 祐樹 (循環器)	当番 医 (循環器)	新見 隆夫 (内科一般)	野村 公志 (消化器)	塚本 英人 (循環器)	
	内分泌(透析予防)				池庭 誠 (14:00~)		
	6診 内分泌／内科		安藤詩奈子 (内分泌)		太田 知英 (内科一般)	新見 隆夫 (内科一般)	
	7診 リウマチ・ アレルギー		西尾 克彦		西尾 克彦	西尾 克彦	
	8診 循環器				当番 医		
神経内科	2診	三竹 愛子			三竹 愛子		予約制
	3診		大塚 康史	高橋 典三		大塚 康史	
	10診 専門外来 (物忘れ・認知症)			三竹 重久 (PM)			
腎臓内科		村山 慎一郎	村山 慎一郎	三輪／村山	村山 慎一郎	村山 慎一郎	
外来ドック室		清水 豊	清水 豊	伊藤 昭宏	新見 隆夫	伊藤 昭宏	予約制
整形外科	1診		西本 聰	木村 昌芳	西本 聰	西本 聰	予約制
	2診						
	3診	伊藤 慶	浦屋 有紀		今井 貴哉		
外科	1診	伊藤 昭宏	成田 公昌	川西 順 (血管外科)	川西 順 (血管外科) 第4週	成田 公昌	ストーマ 外来 毎週火曜日
	2診	木之下 幸夫	木之下 幸夫	中川 雅文	伊藤 昭宏	中川 雅文	
	特殊外来		当番 医 (AM) (ストーマ外来)			沼波 宏樹 (PM) (呼吸器外科外来)	
小児科	1診	水野 佑也	元吉 史昭	水野 佑也	門脇 紗織	水野 佑也	予約制
	2診		中野 正大 (予約制)	元吉 史昭	元吉／水野	元吉 史昭	
	外来(PM)	水野 佑也 (予防注射)	元吉 史昭		元吉／水野		
耳鼻咽喉科	1診		岡本 啓希		浅井 久貴	楊 鈞雅	
眼科	1診	水谷 匡宏	水谷 匡宏	水谷 匡宏	水谷 匡宏	水谷 匡宏	
産婦人科	1診	石原 豊	石原 豊	田中 隆行	石原 豊	大堀 友記子	
脳神経外科	1診	辻本 真範	北島 英臣	熊谷 吉哲	辻本 真範	北島 英臣	
泌尿器科	1診	山本 徳則	金井 茂	山本 徳則	金井 茂	金井 茂	
歯科		横井 彰	横井 彰	横井 彰	横井 彰	横井 彰	*予約制
精神科	1診		加藤 美樹	加藤 美樹	加藤 美樹	鈴木 幹央	*予約制
	2診					閔 正樹 (特殊外来)	
皮膚科	1診			松山 かなこ		藤井 建人	
リハビリテーション科		当番 医	当番 医	当番 医	当番 医	当番 医	予約制

◆受付時間 午前8時30分～11時30分

※各診療科目担当医師については、都合により代診させていただく場合があります。

◆休診日 土日祝祭日、および年末年始(12月29日～1月3日)

*印の診療科は、予約制となっております。

◆面会時間 午後1時～6時

初診でかかる方は、あらかじめお電話でご予約をお願いします。

2次救急当番のお知らせ

東濃厚生病院(瑞浪市)と輪番制で、土岐市、瑞浪市の2次救急当番を行っています。時間外や土曜日、日曜日、祝祭日については、毎週金曜日と第2第4土曜日が当院の2次救急当番になっており、救急車の受け入れを行っています。

(診療科によっては受け入れられない場合があります。)

土岐市立総合病院 併設：土岐市老人保健施設やすらぎ・土岐市訪問看護ステーションときめき

〒509-5193 土岐市土岐津町土岐口703番地の24

電話：(0572) 55-2111 FAX：(0572) 54-8488 E-mail:byoin@city.toki.lg.jp